

# 日本史A

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
高等学校 日本史A 改訂版 (清水書院)	2	2年(選択A)

## 1 学習の到達目標

<b>学習の到達目標</b>	近現代史を中心とする日本の歴史の展開を、世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などと関連づけて考えさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を身につける。
----------------	--

## 2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション 第1編 近代日本の形成と19世紀の世界 第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺 ①外国船の来航と海防策 ②新しい学問と思想 ③社会の変化と農民の動向 ④幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	4	・江戸時代の鎖国下での日本の対外関係について理解する。 ・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
		第2章 明治維新と近代国家の形成 ①国際情勢の変化とペリーの来航 ②開国と国内秩序の混乱 ③幕末の政治情勢 ④明治新政府の成立 ⑤近代化政策の展開 ⑥岩倉使節団と国内の政治情勢	12	・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 ・開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。 ・廃藩置県や封建的身分制度の撤廃など、明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・幕末から明治初期の欧米への使節・留学生の派遣、外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動が起こり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
	6	⑦国際関係と対外政策 ⑧開化政策と復古主義 第3章 国際関係の推移と近代産業の成立 ①自由民権運動の展開と十四年政変 ②松方デフレと民権運動・民衆騒擾 ③立憲政治の成立		・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 ・この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。	○	○	○	○		
	前期中間考査								○	・定期考査
	7	④条約改正と東アジアの情勢 ⑤日清戦争と中国分割 ⑥日露戦争と国民生活 ⑦台湾と韓国併合 ⑧資本主義の確立と地主制 ⑨都市と農村 ⑩明治の文化	9	・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係し、進められたことを理解する。 ・日清・日露戦争のおこった原因と、その結果について理解する。 ・日清・日露戦争を経て、アジア諸国に対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。 ・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命が起こり、資本主義が確立したことを理解する。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。 ・国民統制において、教育政策や国家主義的思想の果たした役割について理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
	8	第2編 近代日本のあゆみと国際関係 第1章 第一次世界大戦と政党政治の展開 ①政党勢力の伸張と大正政変	3	・明治後半から大正期の国内政治については、政党政治の成立と、その背景にあったデモクラシーの風潮の高まりについて理解する。 ・第一次世界大戦が、日本に与えた経済的な影響について理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント	

		②第一次世界大戦と日本 ③ワシントン体制と民族運動							
		前期期末考査						○	・定期考査
	9	④政党政治の展開 ⑤大戦景気と産業構造の変化 ⑥国民生活の諸相 ⑦社会運動の高揚 ⑧デモクラシーと大衆文化	5	・大正期には、第一次世界大戦を通して世界的な民主主義の風潮が高まり、さらに資本主義の発展にともなう産業構造の変化を背景として、さまざまな社会運動が活発になったことを理解する。 ・経済の発展や教育の普及などにもなって、大衆文化が形成されたことを理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
後期	10	第2章 第二次世界大戦をめぐる国際情勢と日本 ①協調外交と金融恐慌 ②昭和恐慌 ③満州事変と五・一五事件 ④日中戦争 ⑤第二次世界大戦と日本 ⑥太平洋戦争の勃発 ⑦戦時下の国民生活と敗戦	9	・国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 ・軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 ・中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。 ・太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。 ・日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
		後期中間考査						○	・定期考査
	11	第3編 第二次世界大戦後の日本と世界 第1章 戦後政治の動向と国際社会 ①占領と改革 ②日本国憲法の制定 ③労働運動の高揚と占領政策の転換 ④戦後の国民生活と文化 ⑤戦後の国際情勢と日本の独立	5	・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策、民主化の諸改革の内容について理解する。 ・日本国憲法について、その制定までの過程や内容の特徴を理解する。 ・日本の経済復興の過程を理解する。 ・戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。 ・アメリカ文化の流入が国民生活に与えた影響について理解する。 ・国際的な冷戦のはじまりと、日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
	12	第2章 経済発展と国民生活 ①国際社会への復帰と日米新安保条約 ②高度経済成長の日本 ③低成長から経済大国へ	3	・主権回復後の日本の国内的な政治の推移と、新しい外交関係の確立の動きについて理解する。 ・高度経済成長の実態と、その歴史的意義について理解する。 ・高度経済成長期において、科学技術の発達、産業構造の変化、消費の拡大など、これを機におきた変化の内容について理解する。 ・高度経済成長期には、経済発展の一方で、都市化、農山漁村の過疎化、公害の発生など、さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
	1	第3章 現代の日本と世界 ①冷戦の終結と「昭和」の終わり ②「55年体制」の崩壊と経済の停滞 ③現在の世界と日本	5	・石油危機にともなう日本国内の動きを、国際情勢の動向をふまえて理解する。 ・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と、国内的な55年体制の崩壊について理解する。 ・現在の日本がかかえる諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という面から理解する。	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
		学年末考査						○	・定期考査
		次年度に向けて		・次年度に向けた学習	○	○	○	○	・授業態度 ・人物辞典 ・授業プリント ・授業内容確認プリント
	3		3						

### 3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②思考・判断	③資料の活用技能・表現	④知識・理解
内 容	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究する。	近現代史を中心とする日本の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考える。	近現代史を中心とする日本の歴史についての資料を活用し、歴史的事象を追究する方法を身につけ、考えた過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする日本の歴史の展開について、世界史的視野に立ち、国際環境などと関連づけながら理解し、その知識を身につける。
割 合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

### 4 履修にあたっての注意事項

- (1) 定期考査
- (2) 提出物への取り組み状況、完成度
- (3) 授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況、服装など）などから総合的に評価する。また、毎時間の授業を大切にし、意欲的に取り組むこと。

※ これらの事項を守れない場合には、未履修となることがあるので注意すること。

#### 評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

#### 学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0